



尼崎市立地域研究史料館と大学 : 地域を志向した教育・研究

大江, 篤

(Citation)

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 17:28-35

(Issue Date)

2019-01-30

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012132>



尼崎市立地域研究史料館と大学 —地域を志向した教育・研究—

大江 篤

園田学園女子大学人間教育学部

はじめに

【自己紹介】

専門 日本古代史 歴史民俗学

東アジア恠異学会 代表

兵庫県文化財保護審議会（民俗文化財）委員

伊丹市文化財保護審議会（民俗文化財）委員

尼崎市立地域研究史料館専門委員

1、園田学園女子大学「地（知）の拠点整備事業」（2014年度～2017年度）

<地域>と<大学>をつなぐ経験値教育プログラム

園田学園女子大学 地(知)の拠点



社会貢献

地域とともに歩みつつ発展する大学として、人と人の「つながり」を大切にしたい社会貢献を行う【大学の理念】

●まちな相談室

学生地域連携推進委員会（つなGirl）が運営
大学と地域の交流窓口



●まちづくり支援員

37年の生涯学習の取り組みを基礎に
まちづくりに携わる地域人材を育成

研究

健康・教育・生活に関わる基礎的研究を力に、社会が求める独自の応用的・実践的な研究に努める【大学の理念】

●地域志向教育研究

4つの地域課題について
複数の学問領域で取り組む研究



●まちづくり解剖学

教職員・学生・自治体職員・住民等が集まり、地域社会の課題を共有し、意見交換する定期的な研究会



教育

経験値教育により、他者と支えあう人間を育成する【大学の理念】

●経験値教育

「知識」を「知恵」に変え
自己の経験を客観化して
成長の糧とする教育



●経験値評価システム

「経験値教育」を蓄積し
実質的なものとする
新しい評価システム

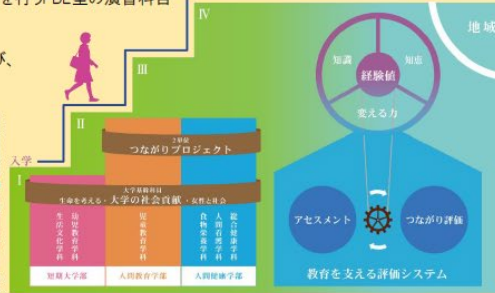
●つながりプロジェクト

尼崎市の地域課題に即したテーマについて、
解決に向けての企画・提言を行うPBL型の演習科目



●大学の社会貢献

尼崎市の特性と課題を学び、
課題の解決策を市に提案



2、【社会貢献】公開講座・歴史セミナー

【園田学園女子大学の生涯学習の歩み】

1979（昭和54）年…土曜公開講座およびテニスコート・グラウンド等施設開放を開始。

1982（昭和57）年…学生と一般社会人が共に学ぶ公開講座「人間を考える」を開設。

2002（平成14）年…社会人の継続的な学習のため、3年制のシニア専修コースを開設。

→※講座数は年間約100講座、受講者数約1000名の規模に発展。

【2018年度 公開講座・歴史セミナー「城と城下町の歴史と民俗」】

2018年は、尼崎城址公園内に尼崎城が再建されます。兵庫県下には世界文化遺産の姫路城はじめ、古代から近世に至るまで多くの城・城跡・城下町があります。朝来市の天空の城・竹田城跡は多くの人が訪れています。この講座では、人々を魅了してやまない「城」とそこでの暮らしに着目し、城下町の民俗や伝説も取り上げます。歴史学、民俗学の研究者が最先端の研究成果にもとづいて、わかりやすく解説していきます。

大江篤（園田学園女子大学人間教育学部） ガイダンス—城と城下町の民俗学	大村拓生 （ひょうご歴史研究室 歴史研究推進員 ・関西大学非常勤講師）
中本和（関西学院大学非常勤講師） 古代の城① —東北の軍事拠点：多賀城を中心に—	南北朝・室町期の赤松氏と白旗城 柏原康人（大阪大谷大学非常勤講師）
小坂慶介（関西学院大学非常勤講師） 古代の城②—大野城	軍記にみる城と館 生駒孝臣（関西学院大学非常勤講師）
原朋志（関西学院大学非常勤講師） 古代の城③—水城・鬼ノ城（朝鮮式山城）	鎌倉時代の館と城 久下隆史（民俗芸能学会評議員）
小栗栖健（神戸女子大学古典芸能研究センター ・播磨学研究所副所長） 城下町姫路と三ツ山大祭	城下町の祭礼 <u>辻川敦（尼崎市立地域研究史料館館長）</u> 尼崎城築城と戸田氏鉄
埴岡真弓（播磨学研究所運営委員兼研究員） 城下町の伝説を読む - 白鷺城のお膝元	<u>河野未央（尼崎市立地域研究史料館）</u> 尼崎城と尼崎藩主・青山幸利
南郷晃子（神戸大学学術研究員） おさかべ姫とは何か —藩体制の形成と怪異譚	<u>中村光夫（尼崎市立地域研究史料館）</u> 尼崎城 城郭と藩士たち
久留島元（日本学術振興会特別研究員P D） 尼崎城下町の怪談	岩城卓二（京都大学人文科学研究所教授） 尼崎城主の役割
中村直人（本学シニア専修コース講師） 戦国期の城・丹波八上城	北川央（大阪城天守閣館長） 豊臣秀吉の大坂築城と城下町建設

【〔特別企画〕『たどる調べる尼崎の歴史』入門講座】（共催として開催）2017年度

第1回 5月13日（土） 古代入門編・史料編 高橋明裕（立命館大学非常勤講師）

第2回 7月8日（土） 中世入門編・史料編

市沢哲氏（神戸大学大学院人文学研究科教授）

樋口健太郎氏（龍谷大学文学部特任准教授）

第3回 7月29日（土） 近世・近現代入門編

岩城卓二氏（京都大学人文科学研究所教授）

辻川敦（尼崎市立地域研究史料館長）

会場は園田学園女子大学。コーディネーターは辻川館長。大江が登壇。

【歴史の旅 in 尼崎】尼崎市制100周年（2016年）に向けて

主催：「歴史の旅 in 尼崎 北から南へ（歴旅）」実行委員会

共催：あまがさき市民まちづくり研究会、サロン・ド・サモン、

尼崎まちづくりネットワーク、園田学園女子大学

① 2012年

I：JR猪名寺→猪名寺廃寺→田能遺跡→猪名川自然林→阪急園田

II：阪急園田→戸ノ内橋→神崎総合センター→遊女塚・神崎渡し跡→JR尼崎

III：JR尼崎→浄光寺→寺江亭跡→杭瀬市場→阪神杭瀬

② 2013年年

I：JR塚口→御園古墳・岡院石棺→塚口寺内町→近松記念館→JR尼崎

II：JR尼崎→中国街道→残念さん→大物主神社→阪神大物

III：阪神大物→ユニチカ記念館→尼崎城址→築地→阪神尼崎

③ 2014年

I：阪急塚口→富松城址→尾浜八幡神社→水堂須佐男神社→JR立花

II：JR立花→七松八幡神社→難波八幡神社→熊野神社→三和市場→阪神尼崎

III：阪神尼崎→貴布禰神社→寺町→阪神出屋敷

④ 2015年

I：阪急武庫之荘→バス→六樋→コスモス畑→西武庫公園→大井戸公園→阪急武庫之荘

II：JR立花→松原神社→琴浦神社→大庄公民館→阪神尼崎センタープール前

III：阪神出屋敷→（バス）→スポーツの森（21世紀の森）→運河→阪神武庫川

※歴史の旅 in 尼崎 ～北から南へ オープニングセッション

2012年10月13日（日）園田学園女子大学

〔第1部〕

○「歴史の旅 in 尼崎北から南へ」企画とは？

正岡茂明（あまがさき市民まちづくり研究会代表）

○実際、こんな感じです!! ～歴史を活かしたまちづくりの事例紹介～

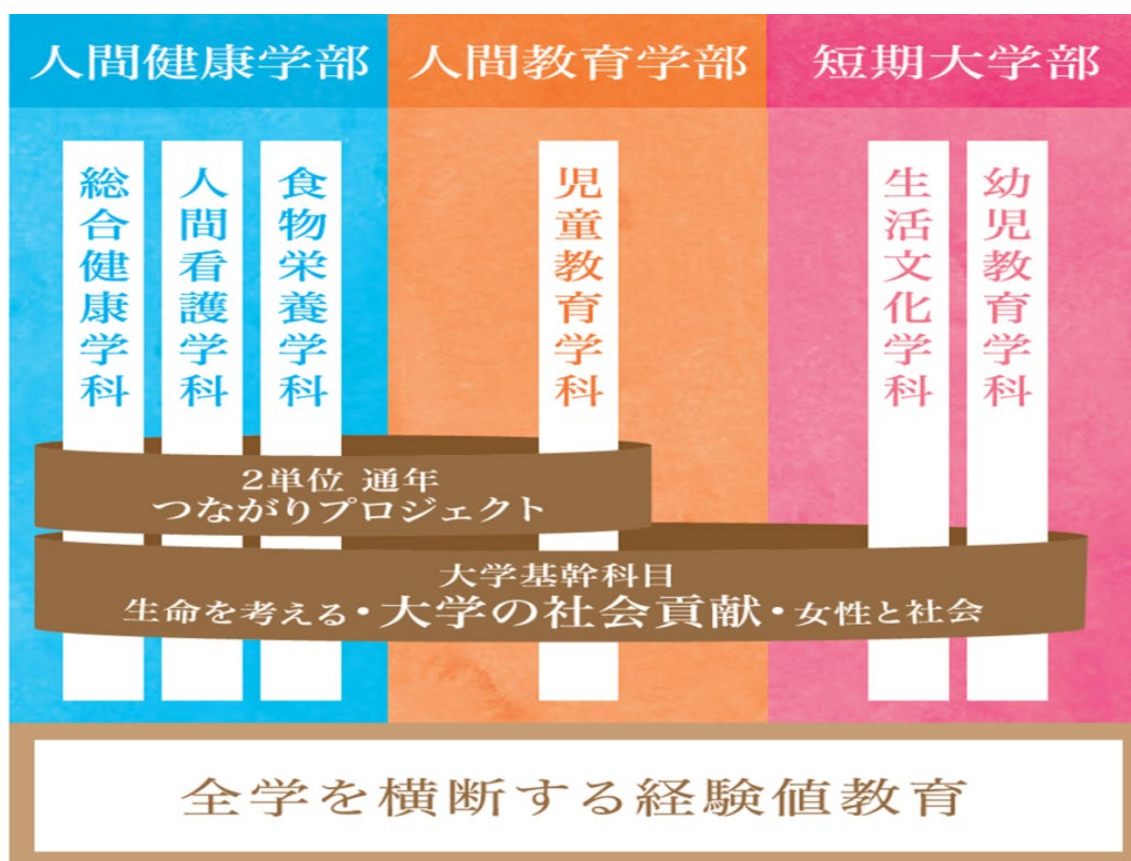
- ・猪名寺の挑戦…「万葉の森」佐璞丘の再生をめざす猪名寺自治会の取り組みを、園田学園女子大学の学生がレポートします。
- ・小田会& 歴史のまち神崎…歴史学習ツアーやモニュメント造りを続ける小田会と、小田地区の歴史スポットのひとつ神崎での取り組みの様子を、正岡茂明がレポートします。
- ・杭瀬商店街に行く…味見ツアーをはじめとする商店街のユニークな取り組みを、園田学園女子大学の学生がレポートします。

〔第2部〕

○歴旅企画オープニング記念講演「歴史と人をつなぐ尼崎の旅」

講師：辻川敦（尼崎市立地域研究史料館長）

2、【教育】地域志向科目「つながりプロジェクト」及び「児童教育研究」（ゼミ）



【2018年度 つながりプロジェクト一覧（2年次生 必修）】

- 01 幼稚園・小学校・高等学校での 効果的なタブレット活用を考えよう！
堀田博史人間健康学部教授・小田桐良一人間健康学部教授
- 02 地域における感染対策「手洗い講習会」
山本恭子人間看護学科教授・田渕正樹食物栄養学科准教授
- 03 地域子育て支援
藤重育子児童教育学科助教
- 04 庄下川環境を利用した地域住民の親水性の向上
衣笠治子総合健康学科教授
- 05 地域日本語教育への提言ーボランティア育成の実践と課題ー
吉永尚人間健康学部教授・藤井雅英人間健康学部准教授
- 06 小学校でのプログラミング教育
難波宏司人間健康学部准教授
- 07 子どものための郷土学習教材をつくる
山本起世子総合健康学科教授・喜始照宣人間健康学部助教
- 08 地域の学びプロデュース演習
若狭健作（株式会社地域環境計画研究所）
- 09 まちづくり企画実践演習
綱本武雄先生（尼崎南部再生研究室）
- 10 尼崎の女性センターを知り、男女共同参画について考える（テーマ デート DV）
岩田さやか（尼崎市女性センター・トレピエ/特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎）
- 11 おもしろきこともなき世をおもしろく
大原一憲（NPO法人あまがさき環境オープンカレッジ）
- 12 尼崎の森中央緑地で生き物のつながりを楽しむ環境学習を作ろう
石丸京子（尼崎の森中央緑地パークセンター）
- 13 図書館探検隊 図書館革命
久留島元（日本学術振興会特別研究員）
- 14 地域社会とまちづくり
芦田英機（有豊中駅前まちづくり会社/豊中駅前まちづくり推進協議会）
- 15 「笑い」を活用した教育プログラム「笑育」の実践
宮島友香（松竹芸能株式会社）
- 16 地元企業との連携による商品アイデアの創出
上相英之（国文学研究資料館）
- 17 あまっこの挑戦！ 地域課題解決型・教育プログラムの開発
荒川由規先生（キャリフラー/NPO 法人 JAE）
- 18 みんなでつくる展覧会
松野和貴（絵本作家・イラストレーター）
- 19 「そこらにあるもん」をブレイクさせて、見慣れた町をキラめかそう
柏原康人（社会連携推進センター学術研究員）・大江篤児童教育学科教授
- 20 子どもの貧困支援
福井邦晃（NPO 法人 ブレーンヒューマニティー）能島裕介（尼崎市参与）
- 21 防災 Re:デザイン ー阪神・淡路大震災の経験や教訓を次世代へ伝えようー
石原凌河（龍谷大学政策学部）
- 22 村の魅力発見！ 香美町小代の宝探し
大江篤児童教育学科教授・喜始照宣人間健康学部助教

【ゼミ活動での取り組み】

- 2010年 猪名寺盆踊り
「HAPPY MAPPY (塚口グルメガイド)」制作 尼崎商工会議所
- 2011年 猪名寺盆踊り
「杭瀬なび。」制作 尼崎商工会議所
- 2012年 「杭瀬なび。」街歩き編 杭瀬アクション倶楽部
- 2013年
- 2014年 杭瀬たんけん隊 「杭瀬小学校郷土学習教材 (街あるきカード)」制作
- 2015年 猪名寺忍者学校 「尼崎市制 100 周年すごろく あまろく」制作
- 2016年 猪名寺忍者学校 NPO 法人やんちゃんこ (株)栄水化学
- 2017年 園田北まちづくり協議会／猪名寺忍者学校
- 2018年 園田北まちづくり協議会
／猪名寺忍者学校・園北ボンズ (ふるさとづくり青年隊/兵庫県青少年本部)

3、【研究】『尼崎百物語』と地域歴史遺産データベース

大江篤編『尼崎百物語』(神戸新聞出版文化センター、2016年4月)

あとがき

平成二十六年に市制一〇〇周年を迎える尼崎市は、近代工業都市として発展してきた工都としてのイメージが強い。しかし、古代より連綿と人々の暮らしが営まれ、歴史上著名な人物も数多くこの地を訪れ、様々な物語が紡がれてきた。本書は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に採択された園田学園女子大学の「〈地域〉と〈大学〉をつなぐ経験値教育プログラム」における地域志向教育研究「地域資源を活用したまちづくりモデル構築のための基礎的研究—歴史文化遺産としての民俗文化財の発掘—」の成果にもとづいたものである。

この研究では、尼崎市域六行政区に伝わる、怪異・霊験譚、あるいは妖怪に関する話などいわゆる「フシギな話」についてのデータベースを作成している。「フシギな話」は、本来地域に根差したコミュニティによって伝承されていくものであり、それ自体がひとつの文化遺産と言える(大江篤「尼に伝わる不思議な話」『南部再生』vol. 47、二〇一四)。そのような伝説、伝承から地域の歴史を明らかにすることを重視したのが、日本民俗学の創始者、柳田國男であった。のちに宮本常一は、柳田國男の『遠野物語』を読んだときの感想を「われわれは、そういう話のごくありふれた話なので、つまらないものと思っておった。それがそうではなかった」といい、「こういうものが学問の素材になるのかということをはじょうに強く考えさせられた」と述べている(伊藤幹治・米山俊直編『柳田國男の世界』(日本放送出版会、一九七六))。このように「ありふれた」「つまらない」ものを「学問の素材」として、いわば「ありふれた」人々の生活、歴史を再現する手段として再評価したのである。

そして、全国各地で民俗調査が実施され、様々な「フシギな話」が収集、蓄積されることになった。柳田以前にも江戸時代の地誌や怪談集に同様の記事が書き留められている。兵庫県では、播磨の『西播怪談実

記』(宝暦四〈一七五四〉)や淡路の『堅磐草』(天保三年〈一八三二〉)、丹波の『多紀郡郷土史考』(一九五八)、但馬の兵庫県教育委員会編『但馬海岸』(一九七四)などがある(大江篤「兵庫の怪談」『幽』vol.17、二〇一二)。しかし、これらの史料は、一般に目にすることが困難なものも多い。

尼崎市では、『尼崎市史』にふれられているものの、まとまったものは公刊されていない。そうしたなか平成元年に尼崎市立北図書館が「尼崎の伝説展」を開催し、平成三年に『尼崎の伝説』という手作りの冊子を刊行した。その製作に尽力されたのが羽間美智子さんである。『尼崎の伝説』は史料・地誌・伝説集など出典が明記されている。それを元に羽間さんが実施した聞き取りを含め、尼崎郷土史研究会が会報『みちしるべ』三十三号・三十四号(二〇〇五・二〇〇六)で「特集 尼崎の伝説」を組んだ。貴重な成果であるが、会員頒布の雑誌であり、尼崎市内の図書館等しか閲覧することができない。

本書は、これら先学の研究に学びながら作製したデータベースから百の物語を選んだ。六行政区の地図を付し、可能な限り伝承地の住所を記載することにより、史跡探索の便をはかることとした。百の物語の故地を訪ねて、かつての暮らしに思いを馳せていただきたい。尼崎の地域資源である不思議な話の収集、蓄積は現在も継続して研究をすすめている。暮らしの記憶は記録に残さないと消滅してしまう。そして、記録に残すことによって記憶されていく。本書に掲載されていない話をご存じの方はぜひ園田学園女子大学地域連携推進機構(chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp)までお知らせいただくと幸いである。

最後になったが、本書の刊行にあたって、史料提供と執筆協力をいただいた尼崎市立地域研究史料館、写真を提供いただいた尼崎市立文化財収蔵庫、尼崎市都市魅力創造発信課、フィールドワークでお世話になった方々にお礼申し上げたい。この書が尼崎市の歴史を明らかにし、魅力発信の一助となることを願っている。

百物語データベース ～尼崎～

伝説、怪談、妖怪伝承—地域から見える不思議な歴史

カテゴリ

地区 (206)

- 中央地区 (51)
- 園田地区 (34)
- 大庄地区 (41)
- 小田地区 (40)
- 武庫地区 (18)
- 立花地区 (22)

未分類 (4)

タグ

三好元長 (1) 仁徳天皇 (2) 徳和親九郎 (1) 円平寺の百鬼 (1) 北条政子 (2) 名月姫 (2) 大納言行忠 (1) 源頼朝 (1) 孝徳天皇 (2) 安藤春八郎 (1) 喜内氏 (1) 山崎宗憲 (1) 島村泰輔 (1) 平清盛

義経・弁慶の隠れ家

義経公旅宿古迹、東国へ下る義経一行が大物で滞在した家がある。嵐が収まるまでに弁慶が借状を書き大豆12石を借りた。

伝承地	大物町
伝承媒体	大物主神社
タブー	なし
文献	撰勝、上方、尼崎の伝説、TOMORROW32
『尼崎百物語』	

2017年10月26日 | 上掲 | 中央地区 | 弁慶, 源義経 | コメントを残す

